

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組みについては、充実した会議であることや参加者の多さも議事録より確認された。職員体制に余裕がある時には、職員の参加も検討いただきたい。職員のプレゼンテーション能力の向上などに生かされるものと期待される。	グループホームの職員を交代で参加するようにし、ホーム内の研修、施設外でのいろいろな研修等に参加したことの報告、支援や他事のサービスの質の向上にてご利用者、ご家族の喜んで頂いたことで、やり甲斐へ繋がった事などの報告にて、職員のプレゼンテーション能力の向上を図りつつ、新たな視点での意見交換をしていきます。	運営推進会議には、地域やご家族の方々の参加があり、効果的な会議を行い、地域と密接な連携をしていき、よりよいサービスを提供できるようにします。次回の運営推進会議では職員も出席し、介護福祉士による痰吸引の資格取得後のご利用者とのかわりについて話してもらう予定です。	2ヶ月
2	35	災害対策については毎年5月、10月の年2回火災や地震を想定した避難訓練を行っている。消防からの指導によりマニュアルを見直している。非常食を備蓄し、東日本大震災を風化させない取り組みや、9月1日の防災の日を意識付けし非常食を提供している。熊本地震も津波警報を受け、近隣住民との相互協力体制も強化し、継続した訓練や、熊本地震も風化させない様な取組に期待される。	実施している訓練についてご家族に報告し、安心を得るようにしています。職員の連絡網の実際の呼び出し訓練を行うようにします。	実施している訓練については、消防署、警備会社や他関連会社様にも来所して頂き、訓練後は評価、説明等して頂いている。ご家族へも報告していきます。職員の連絡網については5月10日の防災訓練前に呼びだし訓練を行います。また、事務所にマニュアルが掲示しているので、いつでも見えるようにしています。	6ヶ月
3	40	食事を楽しむ事の出来る支援 食事介助が必要となり食事体制が変更されている。入居者同士の会話等から話をされることで献立作成に活かしていただきたい。	職員により交代でメニュー作りをしている。ご利用者への野菜の皮むき、お盆拭き、盛り付け等をお願いしている。食事の要介護者(ミキサー・トロミ)もおられ、以前のように共に食事をする事は無くなった。その分介護時に、声掛け、様子観察が出来る。	ご利用者との対話で感想や味、食べたい物を聞き取り、献立作りに取り入れます。担当者会議(プラン提示)時の昼食の案内をし、一緒に食事して頂き、つかの間を楽しんで頂きたい。	3ヶ月
4	49	日常的な外出支援 高齢化する入居者の為に、家族にも企画した外出時に声をかけていただき、今しかできない楽しい時間を家族とともに支援していただきたい。	季節感を感じて頂く、気分転換を図るためにも月に一度はバスハイクを楽しんで頂いている。季節の花や紅葉、足湯他、デイサービスでの歌謡ショー、音楽療法へも外出している。	毎月のお便りに予定を紹介しています。また、スナップ写真もお送りし、ご参加可能な範囲にてお声かけする。ご家族とのふれあいを味わって頂きたい。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。